

令和4年10月吉日

関係各位

国土交通省 東北地方整備局 秋田港湾事務所

「ポート・オブ・ザ・イヤー2022」の投票について

公益社団法人日本港湾協会では、港湾の物流、人流、産業、観光、みなとまちづくり等のみなどに関する活動により、「みなとの元気」を高め、みなとに関する話題づくりにその年で最も優れた港湾を投票により選定し、『ポート・オブ・ザ・イヤー』として表彰しています。

『秋田港』では、飯島地区岸壁を基地として、秋田港・能代港内の洋上風車建設が順調に進捗し12月には商業運転が開始される予定であり、洋上風力発電の先進的な取り組みが進められています。

また、これまで立入禁止であった防波堤を安全・安心な施設利用・運営のもと、釣り開放を実施しており、県内外から多くのヒトが来場し賑わいをみせているほか、3年ぶり開催の秋田竿燈まつりにあわせクルーズ船が連日寄港するなど、コロナ前の賑わいを取り戻しつつあります。

このように、秋田港では地域の歴史や資源、産業を活かしながら、全国に先駆けた新しい取り組み、地域産業の活性化や港湾振興を図っており、秋田の更なる発展を支えていることから、秋田港の「ポート・オブ・ザ・イヤー2022」への選定は、時宜にかなったものと考えています。

上記の趣旨にご賛同頂けましたら、下記URL、QRコードからの「WEB投票」又は、投票用紙での「紙投票」により、「ポート・オブ・ザ・イヤー2022」として秋田港にご投票頂けますようお願い申し上げます。

なお、投票は一人につき一回限りとなっておりますが、投票用紙を別にすることでご家族・知人の皆様も投票が可能です。ただし、WEB投票については、1メールアドレスあたり1投票となっております。

スマホはコチラ↓

投票締切：令和4年11月22日(火)

投票方法：【WEB投票】公益社団法人日本港湾協会 HP

URL：<https://www.phaj.or.jp/>

【紙投票】秋田港湾事務所海洋利用調整室への持参又は郵送、FAX

〒011-0945 秋田県秋田市土崎港西一丁目1-49

FAX：018-880-1021 TEL：018-847-2513



【問合せ】

国土交通省東北地方整備局秋田港湾事務所 海洋利用調整室 TEL：018-847-2513

『秋田港』選定の理由（キーワード）

※「選定の理由」を記載する際の参考にして下さい。

- 秋田港では、全国に先駆けて洋上風力発電の建設が進められ、SDGs への取り組みが進められていると感じるため。
- 道路から見える工場や岸壁付近にある貨物など、その時々で見えるものが変わり、みなとや物流に活気を感じるため。
- 秋田港では、他のみなとで禁止されている防波堤での釣りができる様、取り組んでいるため。
- みなとオアシスあきた港、道の駅あきた港に行けば、お土産を買うことができ、地域の観光拠点や日常的に人々の集まる場所となっているため。
- 秋田港の夏には、コロナ禍においてもクルーズ船が多く寄港し、賑わっていることが感じられるため。
- 秋田港では、フェリーで秋田と北海道を結んでおり、地域間交流や物流等の拠点となっているため。
- 毎年開催されている、土崎港（現秋田港）曳山まつりなどイベントへの取組がおこなわれ、地元住民が参加しており、地域の魅力を感じるため。
- 秋田港は令和 2 年 9 月海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾（基地港湾）に指定され、地耐力強化した飯島地区岸壁（-11m）（耐震）を中心に今後洋上風力発電設備導入の加速化が期待されるため。
- 秋田港を起点とした洋上風力発電事業の推進により、地域産業の活性化に期待されるため。
- 洋上風力発電事業の推進によりカーボンニュートラルへの市民意識が高揚しているため。
- 洋上風力発電設備の運営管理を担う人材育成を産学官連携し取り組み、民間投資や企業進出が進展しているため。
- 事業の見える取組が進んでおり、全国的にも注目されているため。
- みなとを拠点とした様々な取組が進んでおり、将来的な経済活性化が期待できるため。
- みなとを中心に地域に馴染んだ取組が効果的に進んでいるため。
- 物流とクルーズ、賑わいがバランス良く進められているため。



秋田港を基地港湾とした港内洋上風車建設状況（秋田港 13 基、能代港 20 基）



飯島地区岸壁を基地として建設しました。



釣り開放（外港地区北防波堤）R3d は 7,500 人が入場



ファミリー釣り教室



8/3 ぱしゅいっくびいなす



8/4 にっぽん丸



8/5 飛鳥Ⅱ

3年ぶりの竿燈まつりにあわせてクルーズ船寄港

PORT OF THE YEAR 2022

情報誌「港湾」が選ぶ ポート・オブ・ザ・イヤー 2022

投票受付中!

情報誌「港湾」では、読者の方々の投票を募り、みなとまちづくり等の活動でみなとに関する話題づくりにその年で最も優れた港湾を選定し、「ポート・オブ・ザ・イヤー」として表彰しています。

重要港湾、地方港湾を問わず、また規模の大小を問わず、我が国の港湾・臨海部の活性化に寄与した、全国全ての港湾が投票の対象となります。

港湾管理者その他の港湾関係官署、港湾関係企業、港湾を活動の場とするNPOやその他の市民団体などが地域の特性を活かしたユニークで工夫に満ちた取り組みを行った結果、「みなとの元気」が著しく高まった港湾や、我が国港湾界においてエポックメイキングな出来事があった港湾を選定し、ご投票下さい。

「ポート・オブ・ザ・イヤー 2022」に選ばれた港湾は、(公社)日本港湾協会会長から賞状及び盾が授与されるほか、情報誌「港湾」で紹介されます。また、当協会発行のポケットブック「数字でみる港湾2023」の表紙と裏表紙に、受賞港の写真が採用されます。

| これまでの受賞港 | |
|----------|-----------------|
| 2003年 | 名古屋港 [愛知県] |
| 2004年 | 大船渡港 [岩手県] |
| 2005年 | 姫川港 [新潟県] |
| 2006年 | 中津港 [大分県] |
| 2007年 | 該当なし |
| 2008年 | 大竹港 [広島県] |
| 2009年 | 該当なし |
| 2010年 | 輪島港 [石川県] |
| 2011年 | 船川港 [秋田県] |
| 2012年 | 十島村及び三島村 [鹿児島県] |
| 2013年 | 八幡浜港 [愛媛県] |
| 2014年 | 福良港 [兵庫県] |
| 2015年 | 細島港 [宮崎県] |
| 2016年 | 酒田港 [山形県] |
| 2017年 | 境港 [鳥取県・島根県] |
| 2018年 | 紋別港 [北海道] |
| 2019年 | 釜石港 [岩手県] |
| 2020年 | 佐渡島の港 [新潟県] |
| 2021年 | 川内港 [鹿児島県] |

投票方法について

- ①投票される方は、日本港湾協会ホームページ「ポート・オブ・ザ・イヤー」(<https://www.phaj.or.jp/POTY/index.html>)より必要事項を記入の上、送信して下さい。
- ②ホームページからの投票ができない場合は、右ページの投票用紙に必要事項をご記入いただき、郵送にて下記住所までお送り下さい。

*情報誌「港湾」を購読されていない方でも投票できます。

【注意事項】

- 同じアドレスからの投票は1回のみとなります。
複数回の投票をいただいた場合は無効となりますのでご了承下さい。
- FAXでの投票受付は行っておりません。

締め切り：令和4年11月30日(水) 必着

[お問い合わせ・郵送先]

公益社団法人日本港湾協会

情報誌「港湾」ポート・オブ・ザ・イヤー 2022 係

〒107-0052 東京都港区赤坂3-3-5 住友生命山王ビル8F TEL: 03-5549-9575

